

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 63

YOSHIJIRO ISHIKAWA

KEIFUKU ELECTRIC RAILROAD CO.
ABURANOKOJI ONMAEDORI SHIMOKYO-KU,
KYOTO JAPAN



No. 1

昭和30年7月1日

各地ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

国際ロータリー
第63区ガバナー 石川芳次郎

○ 就任御挨拶

昨年秋の連合年次大会で国際ロータリー-第61区が第63区と第64区とに分割されることになり、私は当第63区ガバナーに御推挙の光栄に浴しました。然しいろんな角度から観て、私にはこの大任をお引き受けする資格はありません。甚だ荷の重過ぎるのを心配していますが、お引き受け致しました以上は、諸先輩並びに皆様の御協力を得まして、感謝の心に満ちてロータリー-の信条を遵守し、この1年間、私なりにガバナー-の任務を忠実に愉しんで果させて頂きたいものと念願しております。どうか御温情を以て御支援下さいますようお願い致します。

○ 小菅前ガバナー-に対する感謝

小菅前ガバナー-は道心堅固なロータリー-ア人で、御自身10年間100%出席の記録をもつておられる方であり、常に「ロータリー-は形だけではなく、ロータリー-の精神を体得することが肝要で、それが日常の生活に滲み出るようになってはいけない。無理をして出席率をあげるのは駄目で、おのずから出席がよくなるようでないとは本当とは言えない」と、われわれを導いて下さいました。又「ロータリー-アンのことや、精神を忘れた形式的なロータリー-アンのならぬように」と、常におさとしになりました。し

かもその表現は極めて民主的な平和的且つ庶民的で、公式訪問の際など何処でも和気藹々、談笑の間に肩の凝らぬ御指導ぶりには、全く感謝と感銘を深くしました。ところが、4月のデモストリクトアッセンブリ-で、会長、幹事の集りの時には、いつもと違つて、極めて冷厳な態度で御注意がありました。チヨットいつものガバナー-の調子とは隔つた強い印象を与えられましたが、よく玩味しますと、「当り前のことを当り前にやれ！」と言われたので、ガバナー-の日頃の主張である「ロータリー-は形式だけではなく、心が大切で、ロータリー-を生活するのでなくてはいけない」を強調されたのだと拝聴しました。又他方で、あのお話は次期ガバナー-としての私共への思いやりが多く含まれ、御親切な有り難い贈り物と思ひ、感謝の念を一層深くしました。

昨年、小菅前ガバナー-は柳瀬前ガバナー-と共にロータリー-50周年記念第60区第61区連合年次大会を主宰され、国際ロータリー-会長代理アングス ミッチェル 元R.I.会長を迎えられて大なる感銘を与えられ、大成功裡に大会は終了して輝かしい功績をお遺しになりました。この大会に於ても小菅前ガバナー-の持ち味が随所に出ておりまして、私共後進の者は大い